

ふたば

発行日 ● 平成24年1月

発行者 ● JA岐阜厚生連 中濃厚生病院 広報委員会

中濃厚生病院だより

No 67

第60回 日本農村医学会学術総会 開催

テーマ「地域医療を守るための意識改革—限りある医療資源の活用に向けて—」



中濃厚生病院の理念

みんなの安心、みんなの信頼、みんなの希望
私たちは「安心」「信頼」「希望」のある医療をめざします。

患者さんに「安心」を

いかなるときも差別をなくし、人権とプライバシーを尊重します。
十分な説明と納得のいく医療サービスを心がけます。
快適な環境をととのえ、こころを尽くしてお世話します。

地域社会に「信頼」を

さまざまな機関との連携をすすめ、開かれた病院をめざします。
救急・予防・リハビリテーションまで地域に必要な医療を提供します。
常に新しい知識と技術の集積につとめ、高度医療に取り組みます。

あしたに「希望」を

医療と福祉の実践をとおして生きがいにみちた生活を支援します。
利用者と職員の希望をはぐくむ職場づくりをすすめます。
和を大切にし一丸となって地域医療の発展に努めます。

特集:日本農村医学会学術総会

平成23年10月26日岐阜県知事より
地域災害医療センターの指定を
受けました



JA岐阜厚生連

中濃厚生病院

年頭のご挨拶



J A岐阜厚生連
経営管理委員会会長 上 松 忍

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会事業につきまして、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災により被災された方々に対し、心からのお見舞いを申し上げますと同時に、被災地の一日も早い復興を心より祈念致しております。

さて、わが国の景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直しているものの、政府は、復興費と少子高齢化の進展に伴い膨らむ一方の社会保障費をまかなう財源の確保のために、税と社会保障の一体改革による消費税や所得税等の増税を検討しています。またTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉への参加を表明したことにより医療の分野では、混合診療解禁に加え、株式会社の病院経営への参入、医療機器・医薬品の輸入規制の撤廃、価格の自由化などが交渉の課題になる可能性があります。これまでフリーアクセス、少額負担で医療を受けることができた日本の公的医療保険制度の崩壊が懸念されることから、今後の動向を注視していく必要があります。

そのような中、平成24年度には診療報酬・介護報酬の同時改定が実施されますが、国の財政難から経営改善が大きく期待できない状況にあります。また、慢性的な医師不足や、地方と都市部の医師の偏在及び看護師不足は更に深刻な問題となっており、介護職員の不足問題と併せて、病院運営に大きな影響を及ぼしております。医療を取り巻く経営環境は、今後もより一層厳しくなることが予測されるなか、本会では、今後も医師・看護師の確保はもとより、引き続き施設の充実と高度医療機器等の購入・更新を推し進め、地域の皆様方に信頼される病院を一層目指していく所存であります。また、災害医療に関しては、平成23年11月に中濃厚生病院が災害拠点病院に指定されましたが、平成24年5月開院を目指し移転新築工事中の久美愛厚生病院をはじめ、その他4病院につきましても引き続き地域の災害拠点病院の指定の要請を行ってまいります。最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心から祈念いたしますとともに、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



院長 田 中 孜

明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は本院事業に格別のご支援、ご協力賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年は3月11日に発生した東日本大震災、それに続く福島原発事故と大変な年でした。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興と今年こそ良い年でありますようお願い申し上げます。

この大震災を経験し、便利さを追求することよりも如何に安心、安全が大切であるか、また自然と共存することの難しさを改めて実感しました。

本院におきましては、昨年11月10、11日岐阜市長良川国際会議場と隣接する都ホテルにて第60回日本農村医学会学術総会を主催し、災害医療、原発事故後の対策などもテーマに取り上げ議論していただきました。お蔭様で無事盛会に終えることができ、ご協力いただきました関係各位に感謝申し上げます。

また昨年は、保育所の再開、集中治療室の整備と専門施設認定、災害派遣医療チーム（DMAT）の出動、災害拠点病院指定、MRI装置の増設など病院機能ならびに職場環境整備にも充実に図りました。

今年も国の経済状況の厳しい中、TPP参加、国防問題、年金問題、消費税引き上げなど先行き不安は続きますが、本院は引き続き医療並びに職場環境整備を進めることにより、地域住民の皆様方に納得していただける病院運営を目指し、職員一同努力いたします。本年もご指導、ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

第60回 日本農村医学会学術総会 開催

「地域医療を守るための意識改革—限りある医療資源の活用に向けて—」



▲ 田中院長

平成23年11月10日(木)～11日(金)岐阜市の長良川国際会議場・岐阜都ホテルを会場として『第60回 日本農村医学会学術総会』を開催しました。60回目の記念となる今回は、メインテーマを「地域医療を守るための意識改革—限りある医療資源の活用に向けて—」とし当院の田中病院長が学会長を務めました。

参加者は全国から医師をはじめ、1,581人の病院関係者が参加しました。

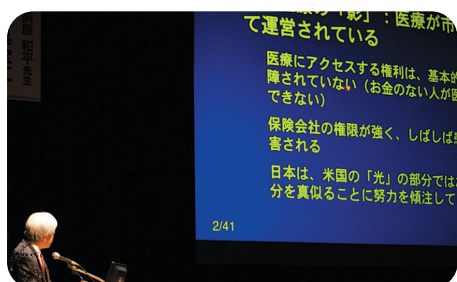
演題は、学会長講演、特別講演2題、教育講演2題、シンポジウム2題、ワークショップ3題、ランチョンセミナー16題と公開講座1題の他、一般演題435題（口演発表220題、ポスター発表215題）と過去最多となり、テーマごとに各会場に分かれて研究発表と活発な意見交換が行われました。

開催1日目は開会式に続き、学会長講演として「中濃厚生病院の歩みとこれからの地域医療」と題し、田中病院長が講演されました。また、学会長講演に続き、「病院統合のモデルケースを目指して—兵庫県立尼崎病院と県立塚口病院の統合—」と題し、藤原教授（兵庫県立尼崎病院&県立塚口病院長・岐阜大学名誉教授）の講演、さらに湊口教授（岐阜大学循環病態学教授）により「循環器疾患の再生医療」と題し教育講演が行われました。



▲ 講演中の田中院長

開催2日目は「アメリカ医療の光と影」などの著書で有名なコラムニスト李 啓充先生の特別講演、教育講演として「ロコモティブシンドローム（運動器症候群、ロコモ）」と題し、大塚教授（名古屋市立大学整形外科教授）の教育講演他、公開講座が行われました。



▲ 李 啓充 先生

また、一般演題では、各会場において2日間に渡り発表が行われ、熱心な質疑応答が展開されました。



▲ 受付

シンポジウム テーマⅠ「地域医療を守るための意識改革」 テーマⅡ「農村の食と健康」



▲ シンポジスト



▲ 鷹津副院長

職種の違うシンポジストがそれぞれの立場から意見を述べ、討論しました。

ワークショップ テーマⅠ「災害医療」テーマⅡ「地域医療連携」テーマⅢ「院内感染対策」

ワークショップでは、それぞれのテーマについて、各病院において経験した事例、取り組みの現状と課題などを報告しあい、参加者を含め熱い討論が行われました。



▲ 「災害医療」では、東日本大震災における当院のDMAT活動について報告しました。

公開講座

テーマ「地震、原発、環境問題の真実」



▲ 武田邦彦 先生

市民の方も参加できる公開講座では、テレビでもお馴染みの武田邦彦先生（中部大学総合工学研究所教授）をお招きし講演いただきました。

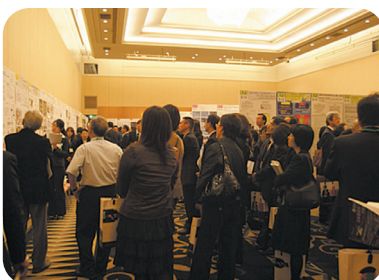


▲ ミナモも来ました

口演会場

ポスター発表会場

当院からは、口演16題、ポスター 7 題を発表しました。



物産展



閉会の辞を述べる田中学会長



外来診療担当表

平成23年11月 1 日以降

番	診療科目		診	月	火	水	木	金
⑬番受付	内科	(消化器)	1	小澤・山崎(隔週)	尾辻・華井(隔週)	戸田	小木曾	山崎
			2	華井	勝村	坂井・小木曾(隔週)	小澤	勝村
			3	森野	島田(内分泌)	森野	尾辻	島田(初診)
			4	勝村(消・初)	山崎(消・初)	尾辻(消・初)	戸田・華井(初・隔週)	小木曾・小澤(初・隔週)
		(循環器) 呼吸器	午前	5 鷹津(循・初)	岩田(啓)(呼・初)	安田(呼・初)	田中→鈴木(循・初)	香田(循・初)
			6	玉木	田中	鷹津	鷹津	田中
			7	川瀬(循・初)	佐野(循・初)	柴田	大須賀	坪内
			8	鈴木	安田	鈴木	中村	安田
			9	岩田(啓)	香田	佐野	香田	佐野
		要 予 約	午後	6 中村・玉木(隔週) (1:30~4:00)	-	-	坂井(再診) (2:00~4:00)	-
				7 玉木/中村(隔週) (2:00~4:00)	-	-	-	-
			3	-	森野(1:30~)	-	森野(初診・1:30~)	-
			9	-	-	-	竹内(3:30~5:00)	-
				-	兼村(2:00~5:00)	-	-	鶴見(2:00~5:00)
				島田(2:00~4:00)	-	坂井(2:00~4:00)	-	-
				岩田(尚)/島袋 (2:00~4:30)	-	-	-	-
⑮番受付	小児科		午前	1 坪内	坪内	坪内	坪内	坪内
			2	山田(信)	山田(信)	山田(信)	山田(信)	山田(信)
		(ワクチン)	午後	2 山田(信)(2:00~)	坪内(2:00~)	-	-	-
		(神経)	2	-	-	山田(信)(2:00~)	-	-
		(内分泌)	1	-	坪内(2:30~)	-	坪内(2:00~)	-
		(アレルギー)予約制	1	-	-	山岸(2:00~)	-	-
		(1ヶ月検診)予約制		-	-	-	-	(2:00~)
	耳鼻科		午前	1 横山(壽)	浅井	横山(壽)	横山(壽)	横山(壽)
			2	浅井	横山(善)	横山(善)	浅井	横山(善)
			3	高畠	-	-	高畠	高畠
		(学童・嚥下)	午後	1 嚥下外来(3:00~) 横山(善)・高畠	-	-	学童外来(3:00~4:30) 浅井・横山(善)・高畠	-
⑮番受付	外科		午前	1 河合	吉田	井上(総)	河合	仲田
			2	井上(総)	佐久間	仲田	佐久間	吉田
		特診		砂川	乳腺その他	乳腺その他	砂川	乳腺その他
	皮膚科	(乳 腺)	午後	1 -	-	-	吉田(乳腺)(1:30~3:00)	-
			午前	1 山田(孝)	山田(孝)	山田(孝)	山田(孝)	山田(孝)
	脳神経外科		2	-	-	-	-	-
			午前	1 -	秋	秋	-	代務医師(種村)
			2	寺島	井上(繁)	寺島	井上(繁)	寺島
⑭番受付	整形外科		午前	1 中北	佐多	佐多	小川	佐多
			2	小川	早川	貝沼	山本	早川
			3	山本	貝沼	中北	河野	河野
			4	貝沼(初診)	山本(初診)	小川(初診)	早川(初診)	交代制(初診)
			5	河野(処置・初診)	河野(初診)	早川(処置・初診)	中北(処置・初診)	中北(処置・初診)
		(処 置)		-	中北	-	-	交代制
		(ギブス外来)	午後	-	-	2:00~3:30	-	-
⑩	泌尿器科		午前	1 斉藤	斉藤	宇野	斉藤	宇野
			2	宇野(初診・10時~)	宇野(初診・10時~)	河田(特診・9:30~)	宇野(初診・10時~)	斉藤(初診・10時~)
⑫番受付	産婦人科		午前	1 太田(初・予約外)	山際(初・予約外)	藤本(〜9:30予約のみ) 太田(9:30~初・予約外)	加藤(初・予約外)	1・3・5週 加藤 2・4週 山際 (隔週)(初・予約外)
			3	代務医師(再診)	加藤(再診)	代務医師(豊木/小倉)(再診)	山際(再診)	太田(再診)
		(1ヶ月健診)	午後	1 -	-	-	-	1・3・5週 山際 2・4週 太田
⑪	眼科		午前	1 近藤	近藤	近藤	近藤	近藤
			2	堅田	堅田	堅田	堅田	堅田
⑲	リハビリテーション科	(心臓リハビリ) 15:00~16:00	午前	1 早川	森野	田中	脳神経外科代務医	貝沼
			午後	鈴木	中村	坪内	佐野	香田

ボランティア募集

中濃厚生病院では現在は20名程のボランティアの方によって玄関案内、病棟手伝い、院内図書管理、各種院内教室(ちぎり絵・絵てがみ)と幅広く活動して頂いています。
地域に根ざしたよりよい病院づくりを目指し、週1回程度、活動して頂ける方を募集しています。
尚、活動時間についてはご相談に応じて調整できますので、気軽にお問い合わせください。
【問い合わせ先】中濃厚生病院 医療相談室 松田 TEL(0575)22-2211

休診日/土曜・日曜・祝日

JA岐阜厚生連 中濃厚生病院
〒501-3802 関市若草通5丁目1番地
TEL(0575)22-2211
URL: <http://www.chuno.gfkosei.or.jp/>